

# 万博公園探鳥会

2022年7月9日(土)

リーダー 足立道成・有賀憲介・橋本寿紀・田中宏・  
中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
平 軍二(090-6901-1425)



## 1. 千里の鳥・万博の鳥「セグロセキレイ幼鳥」

↑有賀憲介氏(20220624)

今月は万博公園で生まれたセグロセキレイの幼鳥を紹介する。セグロセキレイ体長 21 cm、近縁のハクセキレイとは姿・形・大きさともよく似ているが、セグロ……の地鳴きが「ジジッ ジジッ」と濁っているのに対し、ハク……は「チュチン チュチン」と澄んでいるので、声を聞くとわかる。また両種の幼鳥の違いは、図鑑に書かれている特徴で識別しようとしてもわかりにくいですが、今回の写真で見られる個体は、眉斑が後にあり短いので、眉斑がはっきりしているハク……でなく、セグロ……分かる。いずれにしても1羽のみでは判断に迷うことが多く、数多く見慣れる必要がある。

セグロ……は日本と朝鮮半島南部でのみ観察できる日本特産種であるが、ハク……はユーラシア大陸(極東～西欧)、そしてアフリカ大陸にも分布している。おそらくあまり遠くない昔、セグロ……はハク……から分化したと思われるため、両種はよく似ているが、同じ所に住んでいても、交雑はあまりないようである。両種は留鳥として繁殖個所が競合していると思われること、最近ではハク……が良く観察できるので、セグロ……追い出されるのではないかと心配している。しかし今月の写真は『どっこい、そうは問屋が卸さない』というのが、今月のセグロ……幼鳥である。

セグロ……の珍しい光景の事例として、セグロ……白化個体を観察したことを紹介したい。1993年10月探鳥会で全身真っ白いセキレイを観察したが、声からはセグロ……と分かった。93/11、94/3にも観察、94/5探鳥会報告には「昨秋から定着している真っ白いセグロ……は、真っ白でない普通の幼鳥を連れていた」と報告している。それ以後記録はないが、万博公園で一生を終えたも

のと思っている。鳥の白化個体は、氷河期に保護色となるために持っている白変の遺伝情報が、何



らかの原因で表面化して、白化個体になったといわれている。このような日本特産種のセグロ……が、ハク……との生存競争に負けることなく、万博公園で毎年幼鳥が育つことを願っている。

**2. 5月定例探鳥会結果より** 今日午後から雨の予報通り、お昼近くに小雨が降り始めたので、自然文化園のみで終了とした。園内に鳥影は少なかったが、今年生まれた小鳥の子供たち、ヤマガラ・シジュウカラ・スズメ・セグロセキレイなどがいたこと、キビタキのさえずりを3カ所で聞くことができたこと、そしてカワセミも出たことなど、まずまずであった。

**セグロセキレイ白化個体(19931206)故加藤俊二氏** 鳥の気になる行動では、「カラスの蟻浴・スズメの砂浴び」を観察した。特にカラスの蟻浴は2ヶ所で行っており、飛んだ後に座っていた場所を確認すると、どちらもアリの巣の上、多数のアリがいた。万博公園にキジが多かったところ、キジの蟻浴を見たことを思い出し、感慨深いものがあった。

### 3. 万博公園自然文化園を大幅改変中

万博公園の樹林改変についての情報です。万博公園に大阪府絶滅危惧植物を中心に、「レッドリストすいた2021」でAランク(吹田市として絶滅危惧種)にリストアップした希少植物(野草)が11種あるが、万博の森の改変を計画されている場所の一つに、ラン科植物タシロラン群生地があったため、森の改変を計画される万博公園緑整備部会の先生や、万博公園事務所担当に最盛期と思われる6/29にタシロランを見てもらおうべく計画したが、今年6月下旬に快晴の猛暑日が続く、タシロランが芽生えていなかった。

一週間遅らせ7/6に開催、株数は少なかったが、タシロランを見ることができたので、今後の樹林改変の検討時に「希少植物と森づくりのバランス」をとってもらおうことができると思われる。

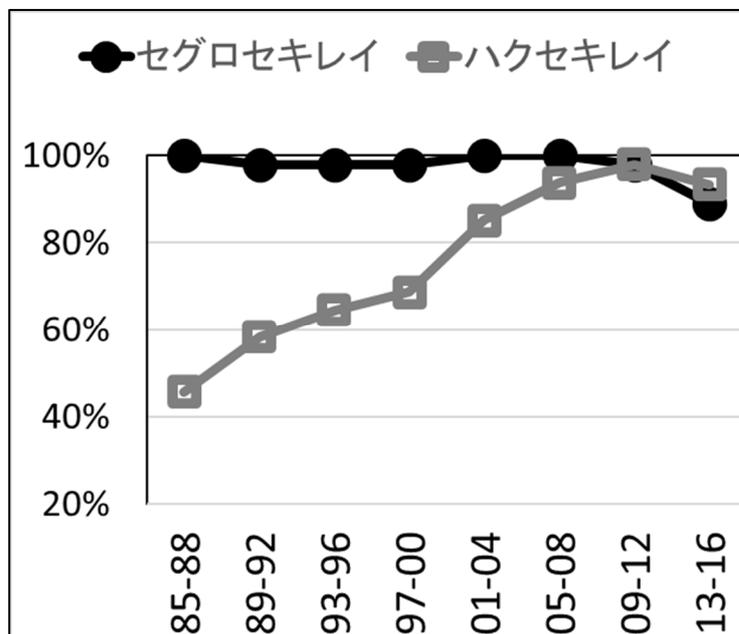
### 4. 万博公園の鳥・今昔(第4回) セキレイ2種

1985年から37年間、万博公園探鳥会で見た鳥の変化を、報告中である。

- 昨年12月 第1回 草原の鳥、
- 今年1月(中止) 第2回 山野の鳥
- 5月 第3回 オオタカ
- 6月 第4回 サギの仲間4種
- 今回 第5回 セキレイ2種

#### 1. セキレイ2種の観察頻度 →

万博公園で探鳥会を始めた1985年にはセグロセキレイは留鳥として一年中観察できたのに対し、ハクセキレイは繁殖地が日本より北にある冬鳥であった。それが徐々に観察頻度が上がり、2000年代に入って留鳥となり、セグロセキレイと同様、一年中観察できるようになっている。



## 2. 全国鳥類繁殖分布調査結果★

万博公園で最も特徴的な結果が出ているアオサギ・ゴイサギについての全国的な繁殖状況を、2021年に公開された「**全国鳥類繁殖分布調査結果**」★3で確認した。

この調査では①1974-1978年、②1997-2002年、③2016-2021年と約20年ごとに行われた3回の調査結果が比較されている。

### ハクセキレイ

分類:スズメ目セキレイ科 White Wagtail *Motacilla alba*  
 全長:19.7-21.4cm 翼長:♂96.58±0.55mm ♀89.93±0.89mm 尾長:♂98.30±0.50mm ♀92.29±2.46mm 体重:25.5-34.5g  
 環境省レッドリスト: —

各年代の分布状況の変化

メッシュ数	A	B	C
1974-1978	110	89	79
1997-2002	91	184	192
2016-2021	129	225	340

調査地点数  
 1997-2002 433  
 2016-2021 478

九州以北の全国に留鳥として分布し、北部の個体は冬期は南へ移動する。海岸、湿地、草原、農耕地、市街地などの開けた場所に生息する。セグロセキレイと比べて、採食行動において河川への依存度が低く、より乾燥した場所で採食することが多い。過去3回の調査期間を通じて記録メッシュ数が大幅に増加した。新たにハクセキレイが記録された現地調査地点の割合は西日本に行くほど多く、北日本からの分布の拡大が顕著である。



### セグロセキレイ

分類:スズメ目セキレイ科 Japanese Wagtail *Motacilla grandis*  
 全長:21.1cm 翼長:♂96.8±2.0mm ♀92.7±2.0mm 尾長:♂26.4±0.9mm ♀25.0±0.8mm 体重:♂31.2±2.3g ♀28.0±1.5g  
 環境省レッドリスト: —

各年代の分布状況の変化

メッシュ数	A	B	C
1974-1978	175	192	94
1997-2002	105	218	167
2016-2021	83	247	191

調査地点数  
 1997-2002 450  
 2016-2021 319

九州から本州にかけて留鳥として、北海道に夏鳥として分布する。平野部から山地の河川、湖沼、農耕地、住宅地に生息する。特に、砂礫地が発達した河川を選好し、ハクセキレイと比べて採食行動において河川など水域への依存度が高い。記録メッシュ数は北海道で減少している以外は大きな変化はないが、比較可能な現地調査の結果では450地点から319地点と減少しており、減少傾向にあると考えられる。



## 4. 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

種 名		4	5	6	7	種 名		4	5	6	7
		9	14	11	9			9	14	11	9
1	24	オシドリ				50	463	ヒヨドリ	27	8	6
2	26	オカヨシガモ	1			51	464	ウグイス	9	12	3
3	27	ヨシガモ				52	465	ヤブサメ			
4	28	ヒドリガモ				53	466	エナガ	4	10	6
5	30	マガモ		3		54	477	メボソムシクイ			
6	32	カルガモ	24	14	2	55	479	エゾムシクイ			
7	35	オナガガモ				56	480	センダイムシクイ			
8	38	コガモ				57	485	メジロ	25	6	8
9	42	ホシハジロ				58	492	オオヨシキリ			
10	46	キンクロハジロ				59	501	ヒレンジャク			
11	58	ミコアイサ				60	506	ムクドリ	23	18	9
12	62	カイツブリ	9	8	3	61	508	コムクドリ			
13	74	キジバト	13	12	3	62	514	トラツグミ			
14	78	アオバト	1	2		63	521	シロハラ	22		
15	127	カワウ	9	11	5	64	522	アカハラ	2		
16	139	ゴイサギ				65	525	ツグミ	26		
17	144	アオサギ	1	1	1	66	530	コマドリ			
18	146	ダイサギ	1			67	536	ルリビタキ			
19	148	コサギ		1		68	540	ジョウビタキ			
20	174	バン				69	542	ノビタキ			
21	175	オオバン	1			70	549	イソヒヨドリ			
22	187	ツツドリ				71	552	エゾビタキ			
23	192	アマツバメ				72	554	コサメビタキ			
24	195	ケリ				73	558	キビタキ		5	3
25	202	イカルチドリ				74	561	オオルリ	1		
26	203	コチドリ				75	568	ニューナイスズメ	2		
27	219	タシギ				76	569	スズメ	31	49	33
28	244	イソシギ				77	573	キセキレイ			
29	286	ユリカモメ				78	574	ハクセキレイ	4	4	1
30	339	ミサゴ				79	575	セグロセキレイ	2	2	3
31	340	ハチクマ				80	580	ビンズイ			
32	342	トビ	2			81	584	タヒバリ			
33	354	ツミ				82	586	アトリ	12		
34	355	ハイタカ				83	587	カワラヒワ	21	16	14
35	356	オオタカ				84	600	シメ	3		
36	357	サシバ				85	602	イカル	2		1
37	358	ノスリ				86	610	ホオジロ			
38	383	カワセミ		1	2	87	617	カシラダカ			
39	390	コゲラ	6	6	5	88	624	アオジ	7		
40	401	チョウゲンボウ	1			89		ドバト	○	○	○
41	407	ハヤブサ				90		ソウシチョウ	2		
42	412	サンショウクイ				91		カッコウSP			
43	418	サンコウチョウ				92		ムシクイSP			
44	420	モズ				93		タカSP			
45	435	ハシボソガラス	4	17	12	94					
46	436	ハシブトガラス	127	23	13	種類数(種)		37	27	24	
47	442	ヤマガラ	6	6	5	個体数(羽)		477	277	156	
48	445	シジュウカラ	36	24	10	天候		晴	晴	曇後雨	
49	457	ツバメ	10	15	8	参加者数(人)		5	12	16	
50	459	コシアカツバメ		3							

次回 8月は夏休み、9月10日(土) 9:30 自然文化園中央口  
 今月と同じ、日本野鳥の会 HP の fomuzs 方式でお申し込みください。